

研究構想シート		学校名	松江市立鹿島中学校
		氏名	榊原 真
A 研究主題	主体的に学び、考え、自己決定できる生徒の育成 ～対話的な活動を通して～		
B 研究の目的	様々な課題を解決するために、他者との関わりの中で自分の考えを再考し、より良い解決ができる生徒の育成		
C 子どもの実態 全体的に明るく素直な生徒が多く、男女仲の良い集団で、多くの生徒が学校行事や学習にまじめに取り組んでいる。しかし、人に流されやすく、合わせて行動する生徒、自分の考えや気持ちを表現できない生徒も少なからずいる。また、学習面においては、授業にまじめに取り組んでいるものの、学習内容の定着が図れていない、学習内容に深まりが見られないという課題が挙げられる。	E 手立て・内容（研究仮説） ペア学習やグループ学習の場を設定する。ペア学習やグループ学習では、人に意見を伝えるために「個で考える時間」を設け、他と意見を交換することで自分の考えを深める活動を取り入れる。また、ペア学習、グループ学習をさらに発展させ、全体の場で様々な考えに触れることで、さらに自分の考えを深めることができるような対話的な活動を充実させる。	D めざす子どもの姿 様々な課題を解決するために、他者との関わりの中で自分の考えを再考し、より良い解決ができる生徒。	
	F 検証方法 ○年間に一回、全員授業公開を実施する。 ○略案による公開授業を行う。 ・主体的、対話的、深い学びのうち、どこに視点を置いた授業か明記する。 ・ペア学習やグループ活動等、生徒同士が意見を伝えあう場面を設ける。 ○参観者は授業の良い点、改善点等を略案に書き、授業者に渡す。		
	G 研究計画 ○年間に一回、全員授業公開を実施。 ○2学期、全国学力調査の分析。 小中一貫教育授業公開。 ○3学期、県学力調査の分析。		